



日本

鈴鹿8耐を堂々の完走

8月、鈴鹿サーキットで開催された『2023 FIM世界耐久選手権 (EWC) 第3戦 “コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第44回大会』の決勝レースに、フックスがスポンサーを務める『TRIPOINT FUCHS Silkolene & DOG HOUSE』が出演し、見事完走を果たした。左村英祐選手、岩谷圭太選手、大須賀俊晴選手の3名がSUZUKI GSX-R1000Rでレースに挑んだ。

世界的に権威あるEWC鈴鹿8耐は期間中で42,000人の観客が訪れた。レースの注目度の高さはもちろんのこと、レースクイーンたちが並ぶピットウォークでは、レーサーのサイン会やピット練習などの催しも行われ、コロナ禍以前の盛り上がりを取り戻していた。また、レースは各配信サービスにより生中継され、多くのモータースポーツファンが熱狂した。

チームは出場以来初めてクラッシュやトラブルもなく8時間を丸々走り切るといふ偉業を達成した。同日、日本では局地的大雨が全国的に発生、レース参加者に緊張をもたらしていた。鈴鹿にもレース最終局面で雨雲が訪れ、慌ててタイヤ交換をしにピットに戻る選手もいた中で、雨を得意とする左村選手は自信をもって走り続けた。

「問題の雨が自分の走行時にあたったのはラッキーでした。EWCクラスのマシンや国際選手達の速さに悔しさを感じないと言ったら嘘になる。けれども彼らと共に走れたのは名誉に思ひ、チームのまとまりを強く感じた8時間でした」と左村選手は語る。

「とにかくチーム皆で無事にゴールができたことが嬉しい」とレース後の岩谷選手は述べる。使用したエンジンオイルはSilkolene Pro4 PLUS 10W-50。岩谷選手がSilkoleneを公式レースで使用するのは本レースが初めて。しかし、文字通りの8時間耐久は品質の高さを知るのによってつけたようだ。「8耐では何よりもノットラブルが重要になります。今回でSilkoleneの信頼度がさらに上がりました。今後も安心して使用できます」

最終順位は総合36位、NSTKクラス10位となった。